

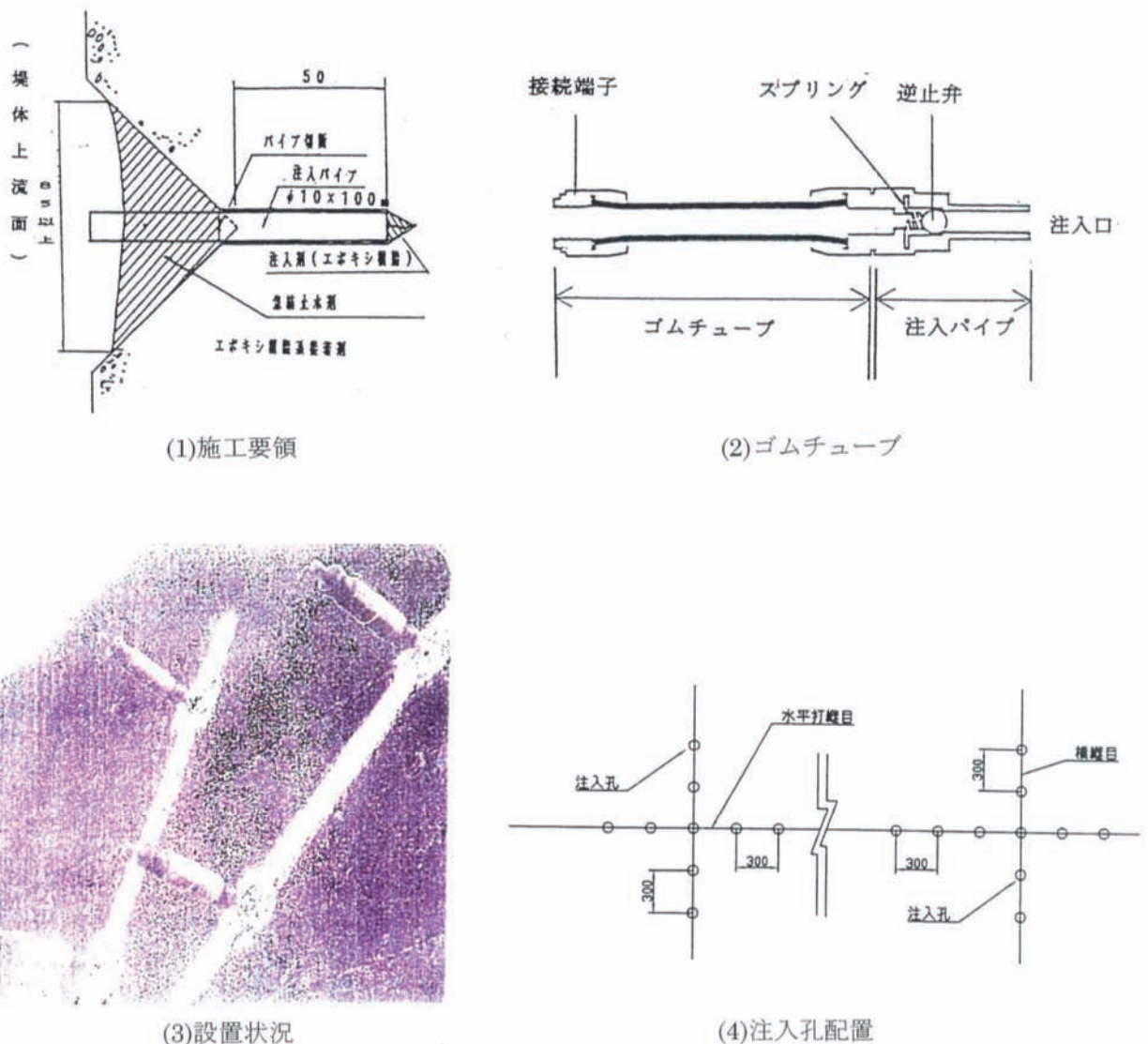


○ピックス工法

ピックス工法とは、コンクリート構造物のひび割れに、特殊エポキシ樹脂をゴムチューブの縮む力（内部圧力）を利用して、時間をかけて自然に近い圧力で奥深くまで確実に注入する工法である。

ダム上流側にドリル等で穴をあけ、取付けパイプを埋込み、急結接着剤で固定させ、ゴムチューブ先端の接続端子を取付けパイプに接続する。その後、特殊エポキシ樹脂を注入口から注入し、ゴムチューブの圧力で、時間をかけて注入する。

豊平峡ダムの止水工事（平成2～7年：例年7～9月に施工）における注入孔の配置を図に示す。



(1)施工要領

(2)ゴムチューブ

(3)設置状況

(4)注入孔配置

図 3.2 既往補修 注入工法概要